

ULTRATONE KXD15/KXD12

600-Watt 4-Channel PA System / Keyboard Amplifier with
Original 15"/12" Turbosound Speaker, Klark Teknik Multi-FX Processor and
FBQ Feedback Detection

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてます。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カート

を使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2022 無断転用禁止。

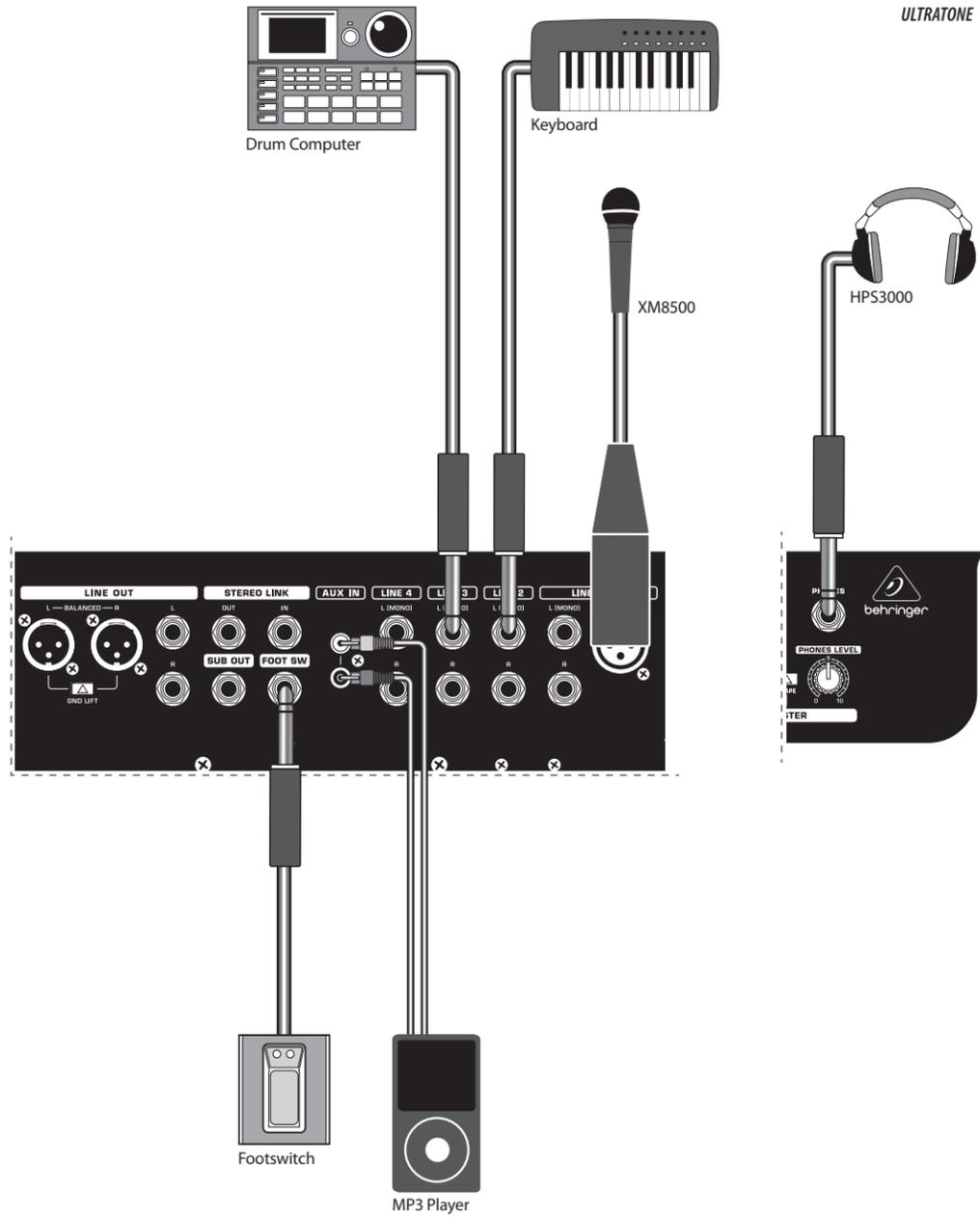
限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

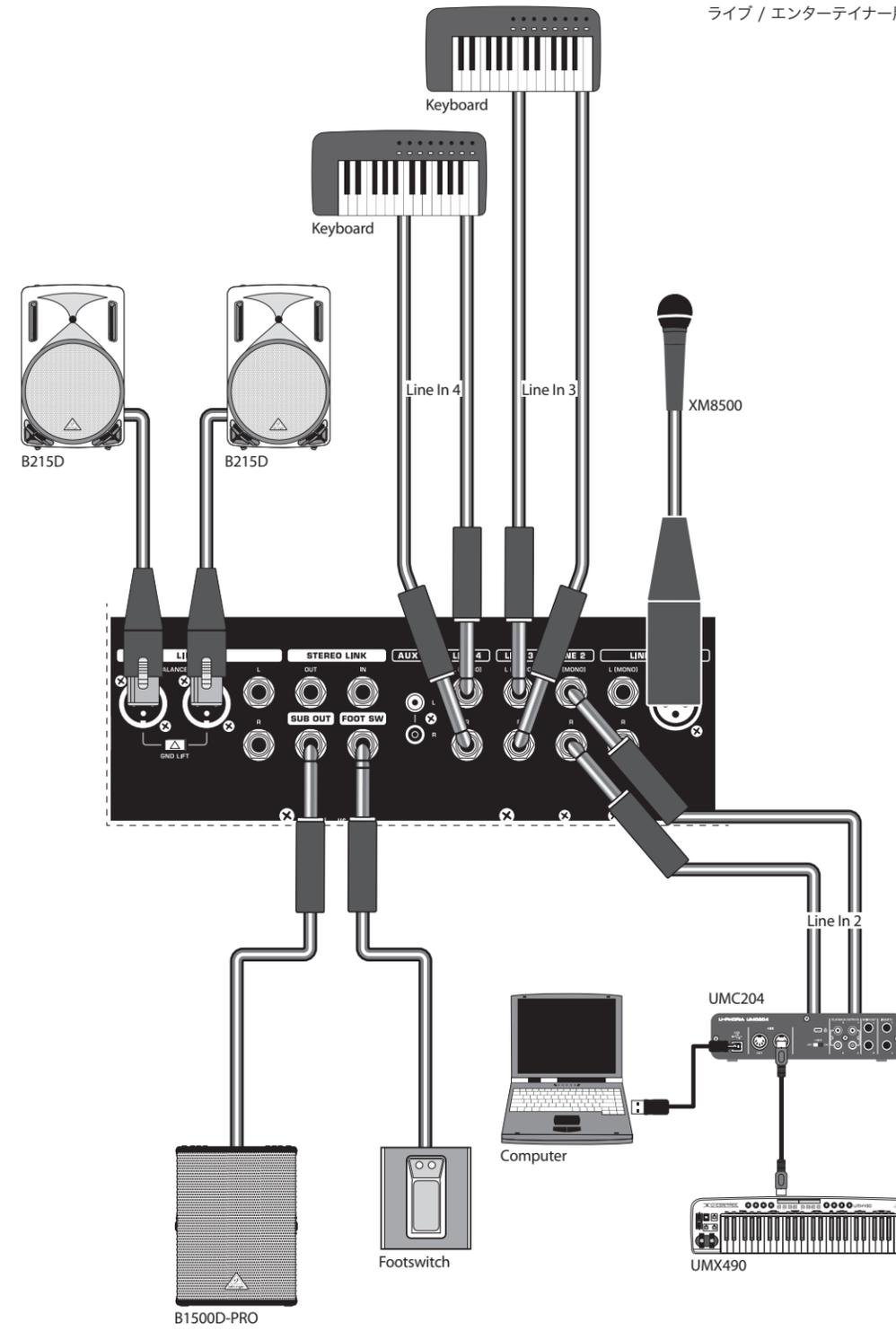
ULTRATONE KXD15/KXD12 フックアップ

ステップ 1: フックアップ

ULTRATONE を使用した練習用セットアップ



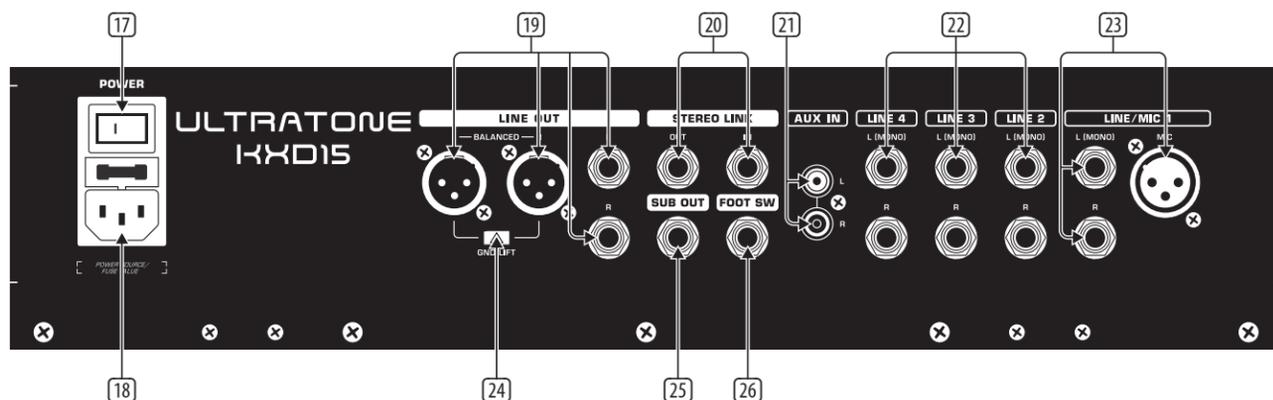
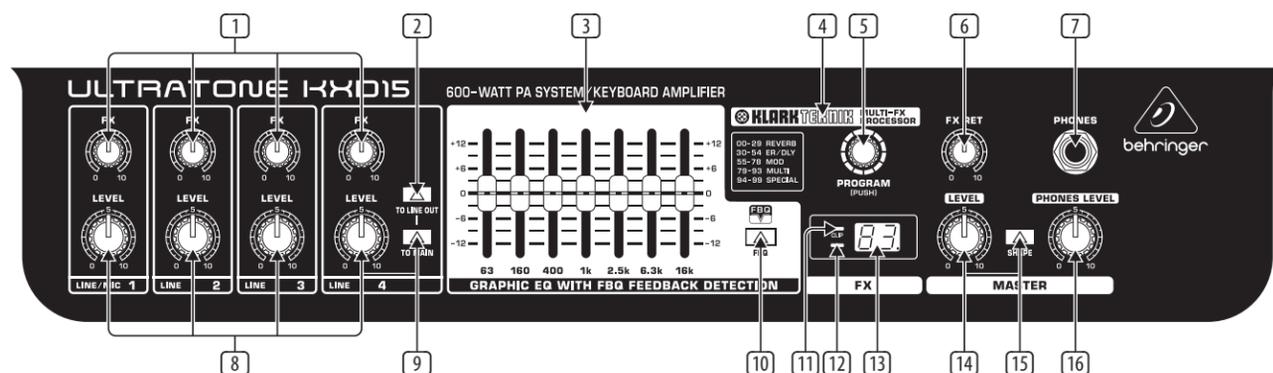
ライブ / エンターテイナー用セットアップ



ULTRATONE KXD15/KXD12 コントロール

JP

ステップ 2: コントロール



- ① **FX** コントロールにより、内蔵エフェクトプロセッサの入力時におけるチャンネル 1-4 の信号レベルを調整します。
- ② **TO LINE OUT** ボタンを押すと、チャンネル 4 の信号がさらに LINE OUT 出力へエフェクトなしで送られます。TO MAIN ボタンおよび TO LINE ボタンを押すと、チャンネル 4 の信号がチャンネル 1-3 と同様になります。信号はスピーカーおよび LINE OUT 出力へエフェクト付きで送られます。
- ③ **GRAPHIC EQ** サウンドのスペクトラムの特定の周波数帯を調節します。
- ④ **MULTI-FX PROCESSOR** 選択されたサウンド・エフェクトを FX ノブが上がっているすべてのチャンネルに加えます。エフェクトには、リバーブ、コーラス、フランジャー、ディレイが含まれます。
- ⑤ **PROGRAM [PUSH]** ノブは、エフェクト設定をコントロールします。このノブを回してエフェクトパッチをスクロールし、パッチを選択するにはノブを押します。
- ⑥ **FX RET** ノブは、メインミックスに追加されるエフェクトの量をコントロールします。
- ⑦ **PHONES** ジャック ¼ インチ TRS ステレオ・コネクタでヘッドフォンを接続します。
- ⑧ **LEVEL** コントロールによりチャンネル 1-4 の信号レベルを調整します。
- ⑨ **TO MAIN** チャンネル 4 の信号を、エフェクトを通さずにスピーカーにルーティングします。解除した状態では、チャンネル 4 の信号は PHONES 出力へ、エフェクトを通さずにルーティングされます。
- ⑩ **FBQ** フィードバックが起きている周波数帯を検知し、一致する GRAPHIC EQ のスライダーが点灯させる、フィードバック感知システムを有効にします。
- ⑪ **CLIP LED** はチャンネル・ストリップの FX センド端子から送信される信号により、プロセッサが過負荷になると点灯します。CLIP LED が点灯した場合には、それぞれの FX コントロールを使用してエフェクト入力信号を下げてください。
- ⑫ エフェクトプロセッサへ入力信号が送られると、**SIG LED** が点灯します。
- ⑬ **FX** ディスプレイで現在選択中のプリセットを確認できます。
- ⑭ マスター部上の **LEVEL** コントロールでメイン出力音量を調整します。
- ⑮ **SHAPE** ボタン マスター出力に特殊なフィルターをかけ、ノイズの多い環境下でサウンドの透明度と明確性を向上させます。
- ⑯ **PHONES LEVEL** コントロールでヘッドフォン出力レベルを調整します。
- ⑰ **POWER** スイッチを使用して ULTRATONE の電源を入れたり切ったりします。本機の電源を初めて投入する際には、POWER スイッチを徹底的に押し込んでください。
- ⑱ **POWER SOURCE** ジャックは、同梱の IEC 電源ケーブルを受け付けます。
- ⑲ **LINE OUT** コネクタ ポスト EQ オーディオ信号を外部機器に送信します。XLR コネクタは、ミキサーやレコーディング・コンソールに適したバランス信号を、¼ インチ・コネクタは追加のアンプリファイアやその他のライン・レベル機器に適したアンバランス信号を、それぞれ供給します。XLR および ¼ インチの両コネクタは同時使用できます。
- ⑳ **STEREO LINK** 接続端子 2 台の ULTRATONE アンプリファイアで、トゥルー・ステレオ・オペレーションをおこなう際に使用します。一方の ULTRATONE の STEREO LINK OUT を、もう一方のキーボード・アンプの STEREO LINK IN に接続してスレーブとして機能させると、トゥルー・ステレオ・サウンドをご利用いただけます。
- ㉑ **AUX IN** 接続端子 CD プレイヤー、MP3 プレイヤーほかの音源の信号を、RCA コネクタを通して受信します。
- ㉒ **LINE** 入力 チャンネル 2-4 に、ペアの ¼ インチ TS コネクタでアンバランス・ステレオ信号を入力するための端子です。モノ入力信号の場合は L (MONO) コネクタをご使用ください。
- ㉓ **LINE/MIC** 入力セクション チャンネル 1 はデュアル ¼ インチ TS コネクタに加え、XLR 接続も可能です。XLR 端子には、マイクロフォンその他の機器のバランス信号を入力します (コンデンサー・マイクロフォンのための +15V ファンタム電源も搭載)。XLR および ¼ インチ・コネクタは同時使用ができ、その場合チャンネル 1 の LEVEL コントロールで両方の入力レベルを調節します。
- ㉔ **GND LIFT** スイッチにより LINE OUT 出力のアース接続を遮断し、グラウンドループが原因で発生するハムノイズを効果的に除去することができます。
- ㉕ **SUB OUT** コネクタからは、パワーアンプやアクティブ・サブウーファの入力信号を接続するためのラインレベル・モノサブウーファ信号が送られます。
- ㉖ **FOOT SW** ジャック ¼ インチ TS プラグでオプションのフットスイッチを接続し、エフェクト・プロセッサのアクティベート / ディアクティベートをおこないます。

技術仕様

	KXD15	KXD12
アンプ		
最大出力電力	600 W*	
構成	バイアンプ	
タイプ	Class-D (ウーファー) Class-AB (ツイーター)	
過負荷保護	デュアルコントロールリミッター	
クロスオーバータイプ	アクティブ	
クロスオーバー周波数	2.8 kHz	2.6 kHz
オーディオ入力		
チャンネル1	2 x ¼" TS, 40 kΩ, アンバランス 1 x XLR, 750 Ω, バランス	
チャンネル2-4	2 x ¼" TS, チャンネルあたり 35 kΩ, アンバランス	
補助入力	2 x RCA 20 kΩ, アンバランス	
オーディオ出力		
ラインアウト	2 x XLR, 120 Ω, バランス 2 x ¼" TRS, 120 Ω, バランス	
ステレオリンク	2 x ¼" TS 120 Ω, アンバランス	
サブアウト	1 x ¼" TS 120 Ω, アンバランス	
電話	¼" TRS コネクター	
イコライザ		
タイプ	FBQ フィードバック検出によるグラフィック EQ	
周波数範囲	63 Hz, 160 Hz, 400 Hz, 1 kHz, 2.5 kHz, 6.3 kHz, 16 kHz	
制御範囲	+/-12 dB	
デジタルエフェクトプロセッサ		
タイプ	クラークテクニック	
コンバーター	24 ビット デルタ シグマ	
サンプリングレート	40 kHz	
表示	2 桁 7 セグ	
ラウドスピーカー		
タイプ	15" ウーファー 1" コンプレッション ドライバー	12" ウーファー 1" コンプレッション ドライバー
周波数範囲	38 Hz - 20 kHz	42 Hz - 20 kHz
フィジカル		
エンクロージャー	強化木造	
グリル	穴あき鋼	
電源・電圧 (ヒューズ)		
アメリカ・カナダ	120 V~, 60 Hz (T 6.3 A H 250 V)	
イギリス・オーストラリア・ヨーロッパ	220-240 V~, 50/60 Hz (T 3.15 A H 250 V)	
韓国・中国	220-240 V~, 50/60 Hz (T 3.15 A H 250 V)	
日本	100 V~, 50/60 Hz (T 6.3 A H 250 V)	
消費電力 @ ¼ 最大電力	110 W	
主電源接続	標準 IEC レセプタクル	
寸法・重量		
寸法 (H x W x D)	483 x 569 x 372 mm (19 x 22.4 x 14.7")	441 x 468 x 298 mm (17.4 x 18.5 x 11.7")
重量	22.4 kg (49.4 lbs)	18.3 kg (40.3 lbs)

*リミッター、ドライバー保護回路とは独立

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You